



重要無形文化財・髹漆保持者（人間国宝）

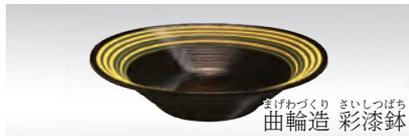
しつげいか
漆芸家

大西

勲さん

プロフィール

- 昭和19年 福岡県中間市に生まれる
- 昭和49年 漆芸家で人間国宝の赤地友哉に弟子入り
- 昭和55年 妻の故郷下館市へ転居
- 平成14年 重要無形文化財保持者に認定
- 平成15年 筑西市市民栄誉賞受賞
- 平成16年 紫綬褒章受章



市内在住の大西勲さんは、漆芸の第一人者で、重要無形文化財保持者（人間国宝）です。曲輪造を始めたきつかけや作品への思いなどを伺いました。

曲輪造を始めたきつかけを教えてください。

曲輪造を始める最初のきつかけは、神奈川県で働いていた際に、鎌倉彫りに出会ったことです。4年間の修業を終えて、次は漆の勉強をしようと考えていたときに、曲輪造の第一人者、故・赤地友哉先生の元に縁があつて弟子入りし、曲輪造を学びました。多くのご縁があつて今の自分がいると感じます。

どのように作品を作られるのですか。

径の異なる輪を組み合わせて器の木地を作り、その上に何回も漆を塗っています。曲輪造は非常に時間がかかるうえに、漆

の精製も含めてすべての工程を私一人で行うため、年に1、2点できればいいほうです。

私の作品は、自分の経験が反映されているものが多いです。例えば「曲物造 石庭」は、龍安寺の石庭がモチーフなので、昔修学旅行で行く予定だった京都に、親がその費用を使つてしまい、行けなかったことを思い出しながら作りました。また「曲輪造 盛器」は、私がドイツの展覧会で初めて売れた作品「曲輪造 彩漆鉢」を、もう一度作りたいという思いから作成しました。

他の人の展覧会は、作品を真似てしまいたくなるため見に行きません。自分の中にあるもので全て表現していることが、私の作品の特徴だと思います。

先生の作品の見方はありますか。

さまざまなお見方が私の創作の刺激になるので、自由な発想で見てください。強いて言えば、この中から1点もらえるならどの作品がいいか、という見方だと面白いかもしれません。ぜひ、自分のお気に入りの1点を見つけてみてください。

美しき漆芸の世界
人間国宝 大西勲展
—日本伝統工芸展 10年のあゆみ

開催期間：12月25日（日）まで
時間：午前10時～午後4時30分
場所：廣澤美術館
入場料：一般1,000円、大学・高校生700円、
中学生500円、小学生以下無料



まげわづくり はっかくあしつきもりき
曲輪造 八角足付盛器

